

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業 実施状況及び効果検証

No	分類	事業名称 (担当課)	事業概要	総事業費 (うち交付金 充当額)	事業費内訳	効果検証
1	感染拡大防止策	キャッシュレス決済導入事業(ペイジー収納)(収納管理課)	インターネットバンキング等で市税等を納付できる環境を整備することで、対面での納付の機会を減少させ、感染症の拡大防止を図る	3,711,960円 (3,711,960円)	MPN接続試験手数料 231,000円 MPN納付書バーコードフォーマットチェック 102,740円 MPN納付書バーコードスキャンテスト 308,220円 ペイジー収納システム導入業務委託料 2,970,000円 日本マルチペイメントネットワーク推進協議会負担金 100,000円	ペイジー収納サービスを導入したことにより、非対面での納付環境が整備され、非対面納付の割合が向上した。
2	感染拡大防止策	窓口におけるキャッシュレス決済導入事業(政策課・情報政策課・市民税課・資産税課・収納管理課・市民課・庄和総合支所)	市の窓口における証明書等の交付手数料等にキャッシュレス決済を導入することで、紙幣・硬貨からの感染リスクを軽減させ、感染症の拡大防止を図る	8,758,750円 (8,758,750円)	セミセルフレジ(10台)8,404,000円 セミセルフレジ対応POSカウンター242,000円 モニターアーム112,750円	手数料等取扱担当窓口セミセルフレジを設置することにより、市民と職員が直接現金を受け渡しせずに収納することが可能となったため、感染症の拡大防止に効果があった。
3	感染拡大防止策	発熱外来運営事業(健康課)	発熱外来を設置し、発熱者の診察を担うことで、市内医療機関の診療体制の維持を図る	17,315,553円 (13,359,938円)	業務委託料 16,889,633円 (発熱外来診療等業務委託(内訳:人員配置料 14,007,345円、検査委託料 2,578,688円、診療報酬明細書点検業務委託料他 303,600円)) 施設・設備管理委託料 425,920円 (消毒・清掃等業務委託 日額1,760円×242日) 合計 17,315,553円	発熱症状等がある患者の受け皿として発熱外来を開設し、157人の受入患者に対してPCR検査等の診療を実施したことで、新型コロナウイルス感染症への早期対応、及び市内医療機関における診療体制の維持に寄与した。
4	感染拡大防止策	施設消毒実施事業(管財課・施設課)	学校及び市庁舎において感染者が確認された場合に、施設の殺菌消毒を実施することで、二次感染を未然に防止し、感染症の拡大防止を図る	4,599,405円 (4,599,405円)	消毒実施に係る業務委託料 庁舎 10回 合計2,588,341円 校舎 8回 合計2,011,064円	施設内の殺菌消毒を実施したことにより二次感染を防ぎ、感染症の拡大防止につながった。
5	感染拡大防止策	施設内感染拡大防止事業(庄和総合支所)(庄和総合支所)	施設内の手洗い水栓を非接触の自動水栓に改修するとともに、各施設に空間除菌装置を設置することで、感染症の拡大防止を図る	3,319,250円 (3,319,250円)	消耗品:58,080円(ソープディスペンサー22台) 備品:753,170円(空間除菌装置100畳対応1台、同16畳対応5台) 修繕:2,508,000円(自動水栓取替修繕) 合計:3,319,250円	庄和総合支所内トイレの非接触化により、新型コロナウイルス感染症対策となった。また、建物の構造上換気が難しい場所においても空間除菌装置の設置により換気を行うことができ、感染防止につながった。

No	分類	事業名称 (担当課)	事業概要	総事業費 (うち交付金 充当額)	事業費内訳	効果検証
6	感染拡大防止策	施設内感染拡大防止 事業(高齢者福祉施 設)(高齢者支援課)	施設内の手洗い水栓を非接触の自動水栓 に改修することで、感染症の拡大防止を図 る	2,635,600円 (2,635,600円)	消耗品(ソープディスペンサー24個) 105,600円 自動水栓交換修繕(6施設25箇所) 2,530,000円	高齢者福祉施設(6施設)のトイレ手洗い水 栓を自動水栓へ交換するとともにソープ ディスペンサーを設置することで、施設を利 用する高齢者に対し、新型コロナウイルス 感染症の感染予防に繋がったものと考え る。
7	感染拡大防止策	施設内感染拡大防止 事業(教育センター) (学校総務課)	施設内の手洗い水栓を非接触の自動水栓 に改修するとともに、各施設に空間除菌装 置を設置することで、感染症の拡大防止を 図る	1,559,184円 (1,559,184円)	①教育センター自動水栓交換修繕: 880,000円 ②庁用備品購入費(空間除菌装置6台): 486,684円 ③消耗品費(ハンドソープディスペンサー20 台):192,500円	トイレの手洗いの自動水栓化、空間除菌装 置の設置により、接触機会・空気感染の減 少が図られ、教育センターを安心・安全に 利用できる感染症対策につながった。
8	感染拡大防止策	施設内感染拡大防止 事業(市民文化会館) (学校総務課)	施設内手洗い水栓の自動水栓化及び、空 間除菌装置の設置により、感染症の拡大 防止を図るとともに、公衆無線LANの設置 により、情報格差対策に向けた環境整備を 図る	7,874,042円 (7,874,042円)	備品4,182,882円(空間除菌装置100畳タイ プ9台、16畳タイプ13台) 修繕3,300,000円(自動水栓53カ所) 消耗品205,766円(ソープディスペンサー47 台) 回線架設料177,518円(公衆無線LANアク セスポイント1カ所) 回線使用料7,876円(1月分) 合計7,874,042円	空間除菌装置やソープディスペンサーの設 置、手洗い水栓の自動水栓化を実施したこ とにより、感染リスクの軽減が図られ、施設 における感染症対策につながった。 また、公衆無線LANの設置により、利用者 の情報格差対策につながる環境を整備す ることができた。
9	感染拡大防止策	施設内感染拡大防止 事業(図書館)(社会 教育課)	施設内の手洗い水栓を非接触の自動水栓 に改修するとともに、各施設に空間除菌装 置を設置することで、感染症の拡大防止を 図る	4,278,120円 (4,278,120円)	消耗品費40,480円(ソープディスペンサー8 台) 施設修繕料645,700円(自動水栓交換修繕 8カ所) 庁用備品費3,591,940円(空間除菌装置100 畳タイプ8台、16畳タイプ10台) 合計4,278,120円	施設内の手洗い水栓を自動式に改修し、 ソープディスペンサーを設置したことによ り、基本的な感染対策の徹底が図られ、感 染防止につながった。 また、各施設に空間除菌装置を設置したこ とにより、感染防止につながった。
10	感染拡大防止策	施設内感染拡大防止 事業(視聴覚セン ター)(社会教育課)	各施設に空間除菌装置を設置することで、 感染症の拡大防止を図る	1,749,682円 (1,749,682円)	庁用備品 1,749,682円(空間除菌装置100 畳タイプ2台、空間除菌装置16畳タイプ13 台)	空間除菌装置を各貸出施設に設置したこと により、感染対策が図られ、感染防止につ ながった。
11	感染拡大防止策	施設内感染拡大防止 事業(郷土資料館) (文化財保護課)	各施設に空間除菌装置を設置することで、 感染症の拡大防止を図る	509,828円 (509,828円)	庁用備品 509,828円(空間除菌装置100畳 タイプ1台、空間除菌装置16畳タイプ2台)	空間除菌装置を郷土資料館展示室内に設 置したことにより、感染対策が図られ、感 染防止につながった。
12	感染拡大防止策	施設内感染拡大防止 事業(体育施設)(ス ポーツ推進課)	施設内の手洗い水栓を非接触の自動水栓 に改修することで、感染症の拡大防止を図 る	2,325,840円 (2,325,840円)	消耗品費 131,340円(ソープディスペン サー30個) 施設修繕料 2,194,500円(体育施設3館の 自動水栓交換修繕30箇所) 合計2,325,840円	施設内の手洗い水栓を自動式に改修し、 ソープディスペンサーを設置したことによ り、流水と石けんを使った手洗いを推進し、 基本的な感染対策の徹底を図ることがで きた。

No	分類	事業名称 (担当課)	事業概要	総事業費 (うち交付金 充当額)	事業費内訳	効果検証
13	感染拡大防止策	施設内感染拡大防止 事業(公民館)(中央 公民館)	施設内手洗い水栓の自動水栓化及び、空間除菌装置の設置により、感染症の拡大防止を図るとともに、公衆無線LANの設置により、情報格差対策に向けた環境整備を図る	27,895,549円 (27,895,549円)	トイレ自動水栓装置交換修繕 12,859,000円(2月設置完了) オートソープディスペンサー設置 476,696円(11月設置完了) 空間除菌装置 7,300,260円(1月設置完了) Wi-Fiアクセスポイント整備 7,259,593円(3月供用開始) 合計 27,895,549円	公民館のトイレ手洗い場に自動水栓装置とオートソープディスペンサーを設置するとともに空間除菌装置を各部屋に設置することで感染予防対策が図られた。また、Wi-Fiを整備したため非対面・非接触のリモート型のコミュニケーションを可能にし、フリースペースの利用環境向上や新たな講座の開催による学習活動の充実につながった。
14	感染拡大防止策	消防庁舎感染拡大防止 事業(消防本部総務課)	消防庁舎の手洗い水栓を非接触の自動水栓に改修するとともに空気清浄機及び間仕切り等を設置することで、感染症の拡大を防止し、救急・消防体制の維持を図る	19,481,961円 (19,481,961円)	・消耗品費362,450円(デスクパーテーション110枚、ソープディスペンサー46台) ・備品購入費2,441,175円(ソフスクリーン75台、加湿空気清浄機15台) ・施設修繕料4,743,336円(消防庁舎自動水栓取付交換修繕46箇所) ・工事請負費11,935,000円(消防本部庁舎仮眠室間仕切り壁設置工事4室)	事務所、仮眠室等の感染防止対策に必要なデスクパーテーションや間仕切り壁の設置等を実施したことにより、飛沫などによる感染防止が図られ、消防職員の感染防止につながった。
15	感染拡大防止策	図書館運営事業(社会教育課)	コロナ禍での生活様式に対応した豊かで質の高い図書館サービスを提供するため、貸出や返却のための外出が不要で、非対面・非接触で利用できる電子書籍の蔵書を拡充する	1,320,000円 (1,320,000円)	消耗図書費1,320,000円(電子書籍493冊)	貸出や返却のための外出が不要など、コロナ禍での生活様式に対応した電子書籍を拡充したことで、図書館サービスが一層充実した。 また、電子書籍の貸出冊数は前年度比124.5%に増加した。(6,381冊→7,947冊)
16	感染拡大防止策	子ども・子育て支援交付金(ICT化推進事業)(保育課)	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、地域子育て支援拠点事業において、ICT化の推進、研修のオンライン化を実施する経費を補助する	1,169,000円 (389,000円)	・地域子育て支援拠点事業 3か所 1,169,000円	地域子育て支援拠点事業において、ICT機器の導入等の環境整備に係る費用を補助することにより、施設の業務のICT化の推進が図られ、職員の業務負担の軽減、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止等につながった。

No	分類	事業名称 (担当課)	事業概要	総事業費 (うち交付金 充当額)	事業費内訳	効果検証
17	感染拡大防止策	子ども・子育て支援交付金(新型コロナウイルス感染症対策支援事業)(こども政策課・保育課)	職員が感染症対策の徹底を図りながら事業を継続していくために必要な経費のほか、マスクや消毒液等の衛生用品や感染防止のための備品購入等に対する経費を補助する	6,934,633円 (2,312,633円)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後児童健全育成事業(利用料減免)2か所 202,875円(保育課)</li> <li>・延長保育事業 2か所 403,000円(保育課)</li> <li>・放課後児童健全育成事業 41か所 4,709,378円(保育課)</li> <li>・地域子育て支援拠点事業 4か所 1,021,000円(保育課)、4か所308,180円(こども政策課)</li> <li>・病児保育事業 1か所 286,000円(保育課)</li> <li>・子育て援助活動支援事業 4,200円(こども政策課)</li> </ul>	<p>地域子ども・子育て支援事業を行う事業所において、職員が感染症対策の徹底を図りながら事業を継続的に実施していくために必要な経費(かかり増し経費等)のほか、感染防止を図るために必要な衛生用品や物品の購入等の経費に対して支援を行い、各事業において必要な感染症対策を徹底することができた。</p> <p>また、感染症拡大防止を図るため放課後児童クラブを臨時休業させた場合等の利用料の支援が受けられた。</p> <p>併せて、ファミリー・サポート・センター事業において、小学校の臨時休業等に伴う緊急的な利用に対し、事業利用料金を助成したことで、保護者の経済的負担の軽減につながった。</p>
18	感染拡大防止策	学校保健特別対策事業費補助金(感染症対策等の学校教育活動継続支援事業)(学校総務課)	学校における感染症対策のより一層の徹底と学習保障を図るため、感染症対策に必要な物品等の購入を行う	23,955,284円 (12,262,284円)	<ul style="list-style-type: none"> <li>①感染症対策としての保健衛生用品購入 小学校:11,810,134円 中学校:3,867,578円</li> <li>②保健衛生備品及び学習保障を図る備品購入費 小学校4,800,296円 中学校:3,477,276円</li> </ul> 合計 23,955,284円	保健衛生物品の購入により、集団感染リスクの軽減が図られ、児童生徒が安心して学ぶことができる環境整備並びに学校における感染症対策につながった。
19	感染拡大防止策	保育対策総合支援事業費補助金(保育環境改善等事業)(こども政策課・保育課)	保育所等において、感染症に対する強い体制を整え、感染症対策を徹底しつつ、事業を継続的に提供していくため、職員が感染症対策の徹底を図りながら保育を継続的に実施していくために必要な経費のほか、保育所等が配布する子ども用マスク、消毒液等の一括購入等や保育所等の消毒に必要な経費を補助する	22,822,857円 (11,420,857円)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公立保育所 7か所 3,406,857円(保育課)</li> <li>・公立指定管理保育所 4か所 1,850,000円(保育課)</li> <li>・私立保育園 18か所 8,091,000円(保育課)</li> <li>・幼保連携型認定こども園 4か所 1,903,000円(保育課)</li> <li>・地域型保育事業所 10か所 2,860,000円(保育課)</li> <li>・認可外保育施設13か所 3,812,000円(保育課)</li> <li>・児童厚生施設 3か所 900,000円(こども政策課)</li> </ul>	保育所等において、職員が新型コロナウイルス感染症対策の徹底を図りながら事業を継続的に実施していくために必要な経費(かかり増し経費等)のほか、感染防止を図るために必要な衛生用品や物品の購入等の経費に対して支援を行い、各施設において必要な感染症対策を徹底することができた。

No	分類	事業名称 (担当課)	事業概要	総事業費 (うち交付金 充当額)	事業費内訳	効果検証
20	感染拡大防止策	疾病予防対策事業費 等補助金(健(検)診 結果等の様式の標準 化整備事業) (健(検)診情報連携 システム整備事業) (健康課)	コロナ禍における地域保健医療の推進の ため、健(検)診結果等の利活用に向けた 情報標準化整備事業を実施するにあたり、 既存のシステムを改修する	8,360,000円 (4,200,000円)	電算業務委託料8,360,000円 (自治体健診のデータ標準対応取り込み ツール 275,000円 データ標準レイアウト取込設定作業 2,915,000円 自治体健診のデータ標準化副本登録 1,210,000円 自治体健診のデータ標準化副本登録導入 作業 3,960,000円)	健(検)診結果の利活用に向けた情報標準 化整備事業を実施したことにより、健(検) 診を受けた本人がいつでも健(検)診結果 を確認できるようになり、地域保健医療の 推進につながった。
21	感染拡大防止策	防疫作業手当の支給 (人事課)	新型コロナウイルス感染症から市民等の生 命及び健康を保護するための、救急救命 活動及び発熱外来に従事する市職員に手 当を支給する	5,384,000円 (5,384,000円)	防疫作業手当(特殊勤務手当) ①救急救命活動に関するもの 対象者:消防職員139名 4,000円×1,262回=5,048,000円 ②発熱外来に関するもの 対象者:健康課職員3名 3,000円×112回=336,000円 ①+②=53,840,000円	防疫作業手当を支給したことにより、救急 救命活動及び発熱外来に従事する職員を 確保し、新型コロナウイルス感染症から市 民等の生命及び健康を保護するための体 制を維持することができた。
22	感染拡大防止策	新型インフルエンザ 等対策事業(健康課)	新型コロナウイルス感染症による自宅療養 者を支援するため、パルスオキシメーター の貸与及び食料品等を配送する	45,910,212円 (45,910,212円)	郵便料 ①レターパックプラスの購入 520×570通 =296,400円 ②自宅療養者に対するパルス貸与及び配 食サービス業務委託(R4.1~3月分) 45,613,812円 <業務委託料内訳> パルスオキシメーター梱包代170円×6,930 件×1.1=1,295,910円 パルスオキシメーター配送料600円×7,328 件×1.1=4,836,480円 食料等セット3,369円×2,555件× 1.1=9,468,574円 食料等セット梱包代500円×2,555件× 1.1=1,405,250円 配食サービス配送料708円×2,826件× 1.1=2,200,888円 人件費330,000円×67日×1.1=24,321,000 円 保管料17,500円×67日×1.1=1,289,750円 車両費10,800円×67日×1.1=795,960円	新型コロナウイルス感染症の自宅療養者 に対し、パルスオキシメーターの貸与及び 配食サービスを実施することにより、新型コ ロナウイルス感染症の感染拡大を予防し、 自宅療養者の健康を保持することが出来 た。

No	分類	事業名称 (担当課)	事業概要	総事業費 (うち交付金 充当額)	事業費内訳	効果検証
23	感染拡大防止策	新たな災害対応スタイル構築事業(防災対策課)	新型コロナウイルス感染症等に対応した防災資材を備蓄することで、避難所の安心・安全な衛生環境を確保する	11,595,100円 (11,595,100円)	消耗品 11,595,100円 段ボールベッド 831,600円 災害備蓄用生理用品 1,637,790円 災害備蓄用子供用紙おむつ 1,494,240円 災害備蓄用大人用紙おむつ 1,099,120円 紙管間仕切り 1,980,000円 災害用簡易トイレ用品 4,186,600円 災害備蓄用ペーパー歯磨き 214,060円 災害備蓄用トイレトペーパー 151,690円	新型コロナウイルス感染症等に対応した防災資材を自主避難所すべてに配備することが達成(配備率100%)でき、避難所の安心・安全な衛生環境を確保することができた。
24	感染拡大防止策	庄和総合支所通信環境整備事業(庄和総合支所)	職員の感染防止及び感染拡大時に分散勤務ができるよう会議室等に無線LAN環境を構築し、業務の継続性を確保するとともに、新しい生活様式となるインターネット接続環境を備えた会議室等として市民への貸出しを継続する	795,102円 (795,102円)	○回線架設料(初期費用) 内訳 親機(3台)・子機(2台) ・機器費 274,175円 ・作業費 264,055円 ・作業管理費 34,232円 ・作業共通材料費 13,937円 ・初期設定費等 114,125円 合計 700,524円 ○回線使用料(月額費用) 内訳 親機(3台)・子機(2台) ・認証サービス 4,125円 ・運用代行電話サポート費 2,750円 ・通信費等 8,888円 合計(1か月分) 15,763円 合計(6か月分) 94,578円	Wi-Fiを整備したことにより、非対面・非接触のリモート型コミュニケーションを可能にし、会議室等の利用環境を充実させ、市民等の満足度向上につながった。
25	感染拡大防止策	廃棄物処理委託業務従事者支援事業(リサイクル推進課)	ごみの収集・処理作業従事者の新型コロナウイルス感染症予防として、マスクや消毒液等を提供し支援することで、廃棄物処理業務の継続及び安心安全な市民生活と公衆衛生の確保を図る	6,269,781円 (6,269,781円)	①作業用ゴム手袋 6,672双 × @249円 × 1.1 = 1,827,460円 ②使い捨てマスク 2,673箱 × @138円 × 1.1 = 405,761円 ③消毒用アルコール 13,344本 × @275円 × 1.1 = 4,036,560円	ごみ収集運搬、処理作業の従事者に対して、予防対策物資を支援したことで、家庭から排出される廃棄物を収集・運搬し、適正に処分することができ、生活環境の保全が図られた。
26	感染拡大防止策	救急体制強化事業(消防本部総務課)	新型コロナウイルスの感染拡大による救急需要の増加に対応するため、救急用資器材及び消毒用資器材を追加配備し、救急出動体制の強化を図る	5,200,800円 (5,200,800円)	・備品5,200,800円 (オゾン殺菌ロッカー、医療用酸素ポンペ)	新型コロナウイルス感染症の感染拡大による救急需要の増加に対応するため、医療酸素ポンペ及び、オゾン殺菌ロッカーを追加配備し、救急出動体制の充実及び強化が図られた。
27	感染拡大防止策	市民文化会館トイレ改修事業(学校総務課)	市民文化会館の和式トイレを洋式(蓋付き)トイレにし、水洗時にふたを閉めることにより感染予防につなげる	10,450,000円 (10,450,000円)	施設修繕料10,450,000円 (洋便器14基設置)	トイレの洋式化により、水洗時に蓋を閉めることができ、感染リスクの軽減が図られ、施設における感染症対策につながった。

No	分類	事業名称 (担当課)	事業概要	総事業費 (うち交付金 充当額)	事業費内訳	効果検証
28	感染拡大防止策	公民館トイレ改修事業(中央公民館)	公民館の和式トイレを洋式(蓋付き)トイレにし、水洗時にふたを閉めることにより感染予防につながる	13,342,296円 (13,342,296円)	公民館トイレ大便器等交換修繕 40基 13,178,000円(12月修繕完了) 便座除菌クリーナーディスペンサー 164,296円(12月設置完了)	各公民館のトイレを洋式(蓋つき)トイレに改修したことにより、水洗時にふたを閉めることにより基本的な感染対策の徹底が図られ、感染防止につながった。
29	市民への支援策	高齢者福祉事務(高齢者支援課)	新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない状況の中、未だ個人消費は回復には至らず、市内事業者の生活は非常に厳しい状況が続いていることから、他の年齢層に比べて市内に生活活動拠点を有している高齢者に市内共通商品券を交付することで、個人消費の回復の一助とするとともに、特にワクチン接種を受けた高齢者を中心に市内経済の活性化の担い手になってもらうことで、高齢者の外出機会を創出し、健康の増進を図る	86,846,002円 (86,846,002円)	消耗品7,768円(模造紙、指サック、付箋等) 印刷製本572,000円(封筒、通知、パンフレット各4万枚) 郵便料8,664,479円 (特定記録郵便にて対象者37,159人あて郵送) 業務委託3,371,755円(封入封緘業務委託) 市内共通商品券74,230,000円 (市内共通商品券2千円×贈呈者37,115人) ※一部の対象者から受け取り辞退等の申し出があったため、対象者数と贈呈者数は同数にならない。	新型コロナウイルス感染症の影響により、未だ個人消費の回復に至らない中、高齢者の外出機会を創出し、個人消費の一助とすることで、地域経済の活性化を図るため、令和3年度敬老会中止に伴い、令和3年7月31日現在、市の住民基本台帳に記録されている75歳以上の方(昭和21年9月30日までに生まれた方)を対象に、敬老会中止のお知らせ、敬老会のお祝いパンフレットと併せて市内共通商品券(一人当たり2千円分)を贈呈した。 その結果、対象者の約7割が商品券を使用したことにより、高齢者の消費が促進され、地域経済の活性化に繋がったものと考えられる。 ※市内共通商品券の使用率 (令和4年3月末現在)74.1%
30	市民への支援策	学校教育支援事業(指導課)	新型コロナ感染症拡大防止に伴い、中止・延期となる修学旅行等宿泊行事に係る追加費用を支援することで、保護者の負担軽減を図る	10,302,652円 (10,302,652円)	・修学旅行キャンセル料(中学校8校) ・スキー教室等キャンセル料(中・義務教育学校5校) 合計:10,302,652円	新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い中止・延期となる修学旅行等に係る追加費用を支援し、保護者の負担軽減を図ることができた。
31	市民への支援策	給食プラスワン事業(学務課)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、学習活動などに様々な制約を受けている小中学生に対し、地元産品のデザートを給食時に提供することで、給食時間に楽しみを与え、地元への愛着を育むとともに、地域経済の活性化を図る	2,957,230円 (2,957,230円)	市内公立学校の小中学生に対し、市内産の果物(ブルーベリー、イチゴ)を使ったゼリーを給食時に計2回提供する。 ブルーベリー:64円、イチゴゼリー:108円、 合計:2,957,230円	児童生徒の食育へと繋がること、また、地域の生産者及び小売店のPR効果と、リピーターの獲得が期待でき、地域経済の活性化が図られた。
32	市民への支援策	児童手当特例給付等給付金給付事業(こども政策課)	新型コロナウイルス感染症が長期化しその影響が様々な人々に及ぶ中、子どもたちを力強く公平に支援するため、子ども一人当たり10万円を給付する	234,982,693円 (234,982,693円)	給付金対象者数2,321人×10万円 その他事務費2,882,693円(郵便料225,775円、派遣業務委託料2,656,918円) 合計234,982,693円	国の給付事業では対象外となった児童を対象に給付したことで、新型コロナウイルス感染症による影響下の子育て世帯を公平に支援することができた。

No	分類	事業名称 (担当課)	事業概要	総事業費 (うち交付金 充当額)	事業費内訳	効果検証
33	市民への支援策	コロナに負けない元気な自治会応援給付金支給事業(市民参加推進課)	自治会活動における新型コロナウイルス感染対策及び Withコロナに向けた新しい活動スタイルに要する費用を支援する	22,558,942円 (22,558,942円)	給付金 地区割額:50,000円×198自治会=9,900,000円 世帯割額:200円×62,978世帯=12,595,600円 事務費(郵送料)=63,342円 合計22,558,942円	アンケート調査の結果、成果目標である「給付後の自治会活動の活性化割合を80%以上とする」については、66.4%となった。ただし、給付金に関する満足度については、「とても満足」、「やや満足」の合計が96.4%となり、「感染対策に役立った」や「会員同士が集まりやすくなった」などの意見があり、地域の活性化が図られた。
34	事業者への支援策	がんばる商店街応援事業(商工振興課)	新型コロナウイルス感染症の影響により、売り上げの減少や感染対策などの臨時的な支出を余儀なくされ、活力を失いつつある市内商店会に対し、給付金を支給することで、商店街の活性化及び商店等の事業継続を図る	47,409,200円 (47,409,200円)	給付金20万円×32商店会 5万円×会員820人 支給に係る事務費9,200円(郵便料9,200円) 合計47,409,200円	がんばる商店街応援給付金を支給したことにより、コロナ対策費・販売促進事業などに活用され、商店街の活性化及び商店等の事業継続につながった。(アンケート調査実施)
35	事業者への支援策	水稲経営次期作支援事業(農業振興課)	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、外食産業や飲食店などで使用する業務用需要が低迷する中、「コメ余り」による米価は低下傾向にあることから、米作農家を対象に作付面積に応じて助成金を支給することで、市内農業者への支援を図る	28,087,086円 (28,087,086円)	報酬(パート会計年度任用職員)841,386円 旅費(パート交通費)29,400円 消耗品費(窓付封筒など)44,715円 郵便料(申請請求決定等)374,785円 水稲経営次期作支援助成金 (交付者1,161人)26,796,800円 合計28,087,086円	水稲経営次期作支援事業を実施したことにより、コロナ禍での米価下落の影響を受けた米生産者への支援が図られ、主な生産者、農業団体、農協、農業委員などの意見も大変好評であったことから、持続的な水稲経営の支援に繋がった。
36	事業者への支援策	コロナに負けるな事業者支援事業(商工振興課)	新型コロナウイルス感染症の影響が未だ続き、売上げがコロナ前に戻らず厳しい状況にある市内事業者に対し、給付金を支給することで事業継続を支援する	97,905,368円 (87,905,368円)	支援金10万円×971件 97,100,000円 (内訳:個人195件、法人776件) 人件費630,662円、郵便料174,706円 合計 97,905,368円	新型コロナウイルス感染症の影響によりセーフティネット保証等の認定を受け、借入を行った事業者に対し支援金を支給することで、市内事業者の事業継続支援につながった。
37	事業者への支援策	貸切観光バス事業者特別支援事業(観光振興課)	新型コロナウイルス感染拡大に伴う外出自粛の要請により、利用者の減少等の大きな影響を受けている市内観光バス事業者に対し、車両維持のための支援金を交付することで事業継続を支援する	11,600,000円 (11,600,000円)	大型バス:500,000円/台×11台=5,500,000円 中型バス:400,000円/台×8台=3,200,000円 小型・マイクロバス:300,000円/台×9台=2,700,000円 ワゴンバス:200,000円/台×1台=200,000円 合計11,600,000円	貸切観光バス車両維持のための支援金を交付したことにより、市内観光バス事業者の事業継続が図られ、地域経済回復のために必要な観光基盤の維持につながった。

No	分類	事業名称 (担当課)	事業概要	総事業費 (うち交付金 充当額)	事業費内訳	効果検証
38	事業者への支援策	公共交通運行継続支援事業(都市計画課)	新型コロナウイルス感染拡大に伴う人流の抑制により、経営に大きな影響が生じている公共交通事業者に対し、車両維持のための支援金を交付することで事業継続を支援する	24,700,000円 (24,700,000円)	路線バス事業者(市内駅に接続するバス1台あたり20万円)8,000,000円(40台) 市内タクシー事業者(市内の営業所に配置する事業用自動車として登録されているタクシー1台あたり10万円) 16,700,000円(167台)	各公共交通事業者への支援金交付を実施したことで、申請のあった全ての事業者が運行を継続することができた。
39	事業者への支援策	プレミアム付商品券発行事業(商工振興課)	消費者及び事業者の双方を支援するプレミアム付商品券を発行することで、感染拡大の影響を受けた市内事業者への支援を図る	441,274,503円 (395,492,342円)	業務委託料 441,274,503円 (内訳:事務関連費 99,943,980円、人件費 21,933,400円、手数料12,187,738円、プレミアム料 293,802,873円、消費税13,406,512円) 合計 441,274,503円	市内全加盟店で使用できる「共通券」と個店のみで使用できる「専用券」の繰り構成としたことによって、コンビニエンスストアやドラッグストアだけに消費が偏ることがなく、身近な個店での購買意欲も刺激し、地域経済回復の一助になった。
40	事業者への支援策	緊急経済・コロナ対策住宅リフォーム助成事業(商工振興課)	テレワークによる働き方の多様性や外出自粛に伴い増加する「おうち時間」の充実を図るため、市民の方が住宅リフォームを実施する際に掛かる費用の一部を助成することにより市内経済の活性化を図る	14,623,937円 (14,623,937円)	助成金189件、14,590,000円 (内訳:市内162件、13,270,000円 市外27件、1,320,000) 郵便料33,937円 合計 14,623,937円	新型コロナウイルス感染防止のため、外出自粛やテレワークの浸透等で増加する「おうち時間」の充実を図れ、感染防止につながった。
41	事業者への支援策	コロナに負けるな事業者支援事業(政府系融資枠)(商工振興課)	新型コロナウイルス感染症の影響が未だ続き、売上げがコロナ前に戻らず厳しい状況にある市内事業者に対し、給付金を支給することで事業継続を支援する	20,699,374円 (20,699,374円)	支援金10万円×199件 19,900,000円 (内訳:個人112件、法人87件) 人件費743,120円、郵便料5,976円、電話料50,278円 合計 20,699,374円	新型コロナウイルス感染症の影響により、日本政策金融公庫等から借入を行った事業者に対し支援金を支給することで、市内事業者の事業継続支援につながった。
合計				1,313,470,776円 (1,221,076,000円)		